

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2年Aクラス	病児保育研究	鹿島 房子	
サブタイトル	体調の良くない子どもの保育を理解する	単 位 数	1
授業形態	対面		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
到達目標			
1) 病児・病後児保育の特性や、病児に対する保育支援方法について理解できる。 2) 病児・病後児保育における他職種との連携について理解できる。 3) 病児・病後児保育室を取り巻く各機関との連携について理解できる。 4) 医療的配慮が必要な子どもへの保育者の役割について理解できる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. ディプロマポリシーとの関連：専門学校のディプロマポリシーに関連する。 専門分野に関する理論・知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて社会で発揮できる専門性の高い実践力を育成する。 〈学びで得られる成果〉専門分野に関する知識・技術を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。 2. カリキュラムマップの位置づけ：専門学校の後期に該当する。			
授 業 の 方 法			
1. 授業方法:各自が授業内容に応じた事例を発表し合い、主体的・対話的な学習を行う。 (1) 健康な子どもの保育の学びを基礎とし、繰り返し学ぶことで、専門知識を定着させる。 (2) 各自が担当した箇所については、事前に情報収集し、グループ討議をすることで、プレゼンテーション力や多面的に考察する力を身に付けられるようにする。 (3) 実習等での事例をあげ、グループ検討することで、理論と実践を結び付け、考察を深められるようにするにする。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト： 体調のよくない子どもの保育〈病児・病後児の保育〉高野陽, 西村重稀編著 北大路書房 2016 参考書： 改訂 医療保育セミナー 日本医療保育学会編 建帛社 2021			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1) 病児・病後児保育の概念を理解している。 2) 病児・病後児保育における保育のねらい・役割について理解し、説明できる。 3) 医療チームの一員としての保育士の専門性を理解し、説明できる。		1) 期末試験（評価の要点1～3についての評価のため）80% 2) 授業中に課す課題の取り組み（質問に対する応答、学習意欲、提出物）20%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1) 医療の支援が必要な子どもの保育に携わる保育士として必要な知識と技術を身につけることを目的としています。 2) 授業に積極的に参加し、保育の専門職としての基礎をしっかりと身につけてください。 3) この授業は、14時間の予習・復習をするものとする。			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	<p>ガイダンス</p> <p>1) 授業内容を概説し、授業の進め方、評価について説明する。2) 各自の「体調の良くない」とはどういうことか、考える。</p>	1) 科目の目標を理解できる。2) 「体調の良くない」という状態を具体的にイメージし、理解できる
2回	<p>子どもの健康の意義</p> <p>1) 子どもの健康の特徴について理解する。 2) 子どもの健康の影響因子について理解する。 3) 子どもの病気の一般的特徴について理解する。</p>	1) 子どもの健康の特徴について理解し、具体的に説明できる。2) 子どもの健康の影響因子について理解し、具体的に説明できる。3) 子どもの病気の一般的特徴について理解し、具体的に説明できる。
3回	<p>保育園児の健康状態の実態</p> <p>1) 子どもの健康状態の把握について理解する。 2) 保育所の子どもの病気について理解する。</p>	1) 子どもの健康状態の把握について理解し、具体的に説明できる。2) 保育所の子どもの病気について理解し、具体的に説明できる。
4回	<p>子どもの健康に関する保護者の意識</p> <p>1) 医療従事者からみた保護者の意識について理解する。 2) 全国の保護者の意識調査から学ぶ。</p>	1) 医療従事者からみた保護者の意識について理解し、具体的に説明できる。2) 全国の保護者の意識調査から学び、理解した上で、具体的に説明できる。
5回	<p>病児・病後児保育事業の意義と内容</p> <p>1) 病児・病後児保育の必要性や歴史について理解する。 2) 病児・病後児保育の意義について理解する。 3) 国庫補助事業についての経緯について理解する。</p>	1) 病児・病後児保育の必要性や歴史について理解し、具体的に説明できる。2) 病児・病後児保育の意義について理解し、具体的に説明できる。3) 国庫補助事業についての経緯について理解し、具体的に説明できる。
6回	<p>病児保育の実際</p> <p>1) 病児保育室の実際について、DVD視聴を通して学びを深める。 2) グループワークを通し、各自の学びを共有する。</p>	1) 病児保育室の実際について、DVD視聴を通して学び、保育者としての役割を理解できる。 2) グループワークを通し、各自の学びを共有し、理解を深めることができる。
7回	<p>体調の悪い子どもの早期発見</p> <p>1) 「体調が悪い」意味について理解する。 2) 「体調が悪い」状態のチェックポイントについて理解する。</p>	1) 「体調が悪い」意味について理解し、具体的に説明できる。2) 「体調が悪い」状態のチェックポイントについて理解し、具体的に説明できる。
8回	<p>体調の悪い子どもに対する保育所での初期的対応</p> <p>1) 保育士ができる対応について理解する。 2) 医師の視点から見た対応について理解する。</p>	1) 保育士ができる対応について理解し、具体的に説明できる。2) 医師の視点から見た対応について理解し、具体的に説明できる。
9回	<p>体調の悪い子どもへの具体的な保育実践</p> <p>1) 帰宅までの保育の実践について理解する。 2) 食事に関する配慮やかかわりについて理解する。</p>	1) 帰宅までの保育の実践について理解し、具体的に説明できる。2) 食事に関する配慮やかかわりについて理解し、具体的に説明できる。
10回	<p>体調の悪い子どもを保育する上で知っておきたい「感染症対策」</p> <p>1) 帰宅までの保育の実践について理解する。 2) 食事に関する配慮やかかわりについて理解する。</p>	1) 帰宅までの保育の実践について理解し、具体的に説明できる。2) 食事に関する配慮やかかわりについて理解し、具体的に説明できる。
11回	<p>体調の悪い子どもを保育する上で知っておきたい「感染症対策」</p> <p>1) 感染症発生に関して備えておくべきことについて理解する。 2) 感染症発生時の対応について理解する。</p>	1) 感染症発生に関してそなえておくべきことを理解し、具体的に説明できる。2) 感染症発生時の対応について理解し、具体的に説明できる。
12回	<p>体調の悪い子どものケアにあたって</p> <p>1) 体調が悪い子どものケアの実際について理解する。 2) 体調が悪い子どもの保護者への支援について理解する。 3) 体調が悪い子どもの保護者への支援について理解する。</p>	1) 体調が悪い子どもとその背景について理解し、具体的に説明できる。2) 体調が悪い子どものケアの実際について理解し、具体的に説明できる。3) 体調が悪い子どもの保護者への支援について理解し、具体的に説明できる。
13回	<p>体調の悪い子どもの保育にあたって</p> <p>1) 子どもの健康状態の評価の仕方について理解する。 2) 保育現場における対応の仕方について理解する。 3) 保育における整備・配慮について理解する。</p>	1) 子どもの健康状態の評価の仕方について理解し、具体的に説明できる。2) 保育現場における対応の仕方について理解し、具体的に説明できる。3) 保育における整備・配慮について理解し、具体的に説明できる。
14回	<p>「体調の悪い子どもの保育」の課題と展望</p> <p>1) 病気の子どもの支援の実際 DVD視聴を通し、学びを深める。2) グループワークを通し、各自の学びを共有する。</p>	1) 病気の子どもと家族、そこを支える職員たちのDVD視聴を通して学び、保育者としての役割を理解できる。2) グループワークを通し、各自の学びを共有し、理解を深めることができる。
試験	<p>まとめ</p> <p>1) 病気の子どもをとりまく状況について理解する。 2) 医療を受ける子どもと保育士の役割について理解する。</p>	